

令和３年度 中部地方整備局事業継続力認定制度検討委員会 議事概要

日 時：令和４年２月８日（火）１１：００～１２：００

場 所：WEB 会議

１．開会

２．主催者挨拶

３．議事

（１）令和３年度の認定状況

①令和３年度の認定状況について内容を説明した。

②意見・質問等 別紙のとおり

（２）今年度の取組み

①今年度の取組について内容を説明した。

②意見・質問等 別紙のとおり

（３）ガイドラインの改訂（案）

①ガイドラインの改訂（案）について説明し、承認された。

②意見・質問等 別紙のとおり

（４）今後の取組み

①今後の取組みについて説明し、承認された。

②意見・質問等 別紙のとおり

４．閉会

以上

意見・質問等

議題 番号	意見・質問等	回答等
(1)	一定の企業で認定が進んできたなか、認定を受けた中核的な企業からその下請けの企業へ BCP 認定の裾野を広げるような、普及啓発の高度化・効率化も必要である。	今後検討する。
	アンケート調査は認定申請をしていない企業を対象とし、BCP 認定制度に申請していない理由等を確認すると普及啓発の取り組みの参考となるのではないか。	今後検討する。
(2)	インセンティブは有効である一方、インセンティブを目的とした申請とならないような工夫も必要である。	今後検討する。
	講習会等の普及啓発においては、時間や場所を選ばずに、いつでも、誰もが見られるように WEB を活用することも有効である。	今後検討する。
	BCP を策定していること自体が地域のためになることを積極的に広報し、社会的に BCP の認知度が向上されると良い。	中部地方整備局の開催する各種イベントで BCP の広報活動を引き続き実施する。
(3)	適合率の低い項目に対する対策としては、ガイドラインの改訂に加えて、チェックリストを作成し、間違いやすい項目の注意喚起を図るなどの工夫があると良い。	チェックリストを作成する。
	発災時の燃料の調達については、被災地へ出向く供給会社側の立場でも対応は簡単ではないという声もあるため、BCP 制度においても対応の難易度を見極めていく必要がある。	対応が難しいような項目は建設会社の意見等を踏まえ、ガイドライン改訂への反映を検討する。
(4)	申請手続きの効率化・簡素化に向けた電子申請の導入に関しては、引き続き取り組みを推進し、申請する企業の負担軽減を図ることが望ましい。	導入検討を引き続き進める。